

英語・数学・理科^(生物基礎・化学基礎・化学)・国語

〔注 意 事 項〕

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子の中を見てはいけません。
2. 問題冊子の出題科目、ページ等は、下表のとおりです。監督者の指示に従って確認しなさい。

出題科目	大問題番号	ページ	対象受験者
英語	第1問～第4問	1～13	2科目受験 薬学部(専願制)の 受験生は1科目受験
数学	I～Ⅲ	15～20	
生物基礎	I～Ⅲ	21～34	
化学基礎(医療保健学部・看護学部)	I～Ⅲ	35～45	
化学基礎・化学(薬学部)	I～Ⅳ	47～58	
国語	第一問 第二問	78～59 (裏表紙の次のページから)	

- ・人間社会学群の受験生は英語、国語、数学から2教科2科目選択し解答しなさい。
 - ・医療保健学部の受験生は英語、国語、数学、生物基礎または化学基礎から2教科2科目選択し解答しなさい。
 - ・薬学部の受験生は化学基礎・化学を必ず解答し、英語、国語、数学から1科目選択し解答しなさい。
 - ・薬学部(専願制)の受験生は化学基礎・化学の1科目を解答しなさい。
 - ・看護学部の受験生は英語を必ず解答し、国語、数学、生物基礎、化学基礎から1科目選択し解答しなさい。
 - ・国語の問題は裏表紙「数学 マーク・シート記入上の注意」の次ページから始まるので注意すること。
3. 解答用紙はマーク・シート2枚です。
 4. 問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手をあげて監督者に知らせなさい。
 5. マークは、解答用紙(マーク・シート)に記載してある「記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。ただし、数学のマークは、問題冊子裏表紙の「数学 マーク・シート記入上の注意」をよく読んだうえで、正しくマークしなさい。
 6. 受験番号及び氏名は、マーク・シートの所定欄に正確に記入し、また受験番号欄の番号を正しくマークしなさい。
 7. 監督者の指示があつてから、マーク・シートの左上部にある「科目欄」に受験する科目名を記入しなさい。(数学については数学専用のマーク・シートを使用すること。)
 8. 問題冊子の中にある余白ページ(P.14, P.46)を下書き用紙として利用してもかまわない。
 9. 試験終了後、問題冊子は持ち帰りなさい。

国語

(45分) 100点 (解答番号

1

5

27

)

第一問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(41点)

どうしても今日のうちに白状しておかなくてはならないことがあって、母をコーヒーに誘った。

茶の間で喋ると話が辛くさくなる。明るい喫茶店なら、私も事務的に切り出せるし、母も涙をこぼしたり取り乱すことなしに受けとめてくれると思ったからである。

次の日になると、私の初めてのエッセイ集が発売になる。明治生まれのわが父の短気オウ暴を中心に、子供の頃の暮らしのあれこれをもとめたものだが、問題はあとがきであった。

三年前に乳癌を患ったが、母の心臓の具合のよくなかったことと、私自身思うところあって別の病名を言い、ごく内輪の者以外には表沙汰にできなかったこと。あまり長く生きられないような気がして、誰に宛てるともつかぬ呑気な遺言状のつもりで、これを書きました、などと述べているのである。

書いた直後にサラリと白状してしまえばよかったのだが、言おうとすると雨が降ってきたり——運動会ではないのだから雨が降ってもかまわないのだが、こういう話は天気がいい、母の機嫌のいい日に切り出したかった。というのは口実で嫌なことと締切を先にのばすのは、私の一番悪い癖なのである。

手頃な店を見つけ、向かい合って坐った。

七十一歳の母はコーヒーマ好きで、いつものように山盛り三杯の砂糖を入れ、親戚の噂などを上機嫌で話している。うわの空で相槌を打っているうちに、二人ともコーヒーマを飲んでしまった。もう言うしかない。

「三年前のあれね、実は癌だったのよ」

一呼吸置いて、母はいつもの顔いつもの声でこう言った。

「そうだろうと思ってたよ」

また一呼吸置いて、少しいたずらっぽくい口調で、お前がいつ言い出すかと思っていた、とつけ加えた。

(4) 私は古いタイヤから空気が洩れるような溜息をついてしまった。

この三年、母とは別に住んでいたこともあり、私は完璧に騙したと思っていた。ことさら元氣そうに振舞ったせいも、医学雑誌から健康の秘訣を語る座談会に出て欲しいと言われたこともあった。

母は手術直後の弟の声で判ったという。あの子がああいう声を出すからには、只事ではないな、と思ったというのである。水のお代わりを頼みながら、私は、思わず声に出してしまった弟の情を嬉しいと思ひ、三年間、ただのひとことも、病気について探りを入れずにいてくれた母を凄くと思った。母の方が役者が上であった。騙したと思っていた私が、実はみごとに騙されていたのである。

本が店頭に並んだ直後から、わが家の電話のベルが頻繁に鳴るようになった。

古い友人達が、本で私の病氣を知り、水臭いと腹を立てている。見ず知らずの同病の方、××エキス、宗教団体からのもあった。これから伺いますというのもあり、私はお礼とお詫びに汗をかいた。

一番多かったのは、「うちの父と同じ」という声であった。

人一倍情が濃い癖に、不器用で家族にやさしい言葉をかけることが出来ず、なにかという怒鳴り手を上げる父親が、かなりの数で世間様にもいたのである。自分には寛大、妻にはきびしい身勝手な夫が、
(5) 癖に自分一人では頭ひとつ洗えない夫が、ほかにもおいでになったのである。

見ず知らずの方が、電話の向こうで、一時間にわたって自分の父親を熱っぽく、時にはうるんだ声で語って下さったこともあった。始めの二、三日は私も感動して伺ったのだが、折悪しく本職のテレビ・ドラマの締切とぶつかり、⁽⁶⁾サイ促するプロデューサー

の声が切迫するようになってからは電話番号を伺い、いずれ、ということでお詫びして切らせて戴いた。同様の手紙も沢山頂戴した。

「自分は三十代の父親だが、娘が将来、私のことをもし活字にした場合、どういう風に書くのかと思うと索漠たる思いがする。あなたの父上のようにブン殴った方がいいのだろうか」

とたずねられ、返答に窮したこともあった。

お世ジ⁽⁷⁾半分であろうが、他人様にはいい父、いい家族とうつるらしく、父上のご存命中、一緒に酒を飲みたかったと書いて下すった方、母上によろしく、ご弟妹にお目にかかりたいという声も随分と沢山あった。

(8)、わが家族は、ことのほかご機嫌が悪いのである。

何様でもあるまいし、家の中のみつともないことを書かれて、きまりが悪くてかなわないというのである。ここで退いては商売に差し支えるので、尊敬する先輩方のエッセイを例にひいて抗弁したのだが、そういう方のご家族もみなかげでは泣いておられると反撃され、結局二度とこういう真似⁽⁹⁾は致しません、と謝った。とにかく去年の暮れから今年のお正月にかけては謝ってばかりいた。』

(10)

』という題名が悪かったのかも知れない。

(向田邦子『眠る盃』による)

問1 傍線番号(1)「白状しておかなくてはならないこと」とは、どういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～

⑤の中から一つ選んでマークしなさい。

1

- ① 三年前に母に内緒で手術をしていたこと
- ② 三年前の手術が乳癌の手術だったこと
- ③ 三年前の乳癌の手術のとき、母の心臓の具合が悪かったこと
- ④ 三年前の乳癌の手術を、内輪の者以外に表沙汰にしなかったこと
- ⑤ 三年前の乳癌のことを、本に書いたこと

問2

傍線番号(2)「エッセイ集」は、どういった経緯で書かれたものか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。

2

① 癌を患い、手術はしたものの、もう長くは生きていられまいと思い、書き残しておきたかった事柄を、読者宛ての遺言状のつもりで書いた

② 癌の手術のあと、もしものことがあっても大丈夫なように、家族宛ての遺言状のつもりで、家族の思い出のころなどを書いた

③ 癌の手術のあと、もしものことがあつてはいけないので、何か遺言状のようなものを残しておきたいと思い、手術のころや表沙汰にしていなかったことなどを書いた

④ 癌の手術のあと、長生きできないとわかり、家族の思い出などをつづった文章をぜひ残しておきたいと思い、遺言状のようにつもりで書いた

⑤ 癌の手術のあと、あまり長生きはできないだろうと思い、父のこと、子供の頃のことなどを、誰にといいのではないが、気楽に遺言状でも書くようにつもりで書いた

問3 傍線番号(3)・(6)・(7)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選んでマークしなさい。

3

5

(3) オウ暴

- ① オウ米文学を専攻する
- ② 自転車がオウ転する
- ③ オウ座決定戦
- ④ 証拠品をオウ収する
- ⑤ 学問の深オウを究める

(6) サイ促

- ① サイ算がとれない
- ② サイ考の余地はない
- ③ 写真展を主サイする
- ④ 核兵器を搭サイする
- ⑤ チューリップをサイ培する

(7) お世ジ

- ① 秩序を維ジする
- ② 情報を開ジする
- ③ ジ道に努力する
- ④ ジ目を集める
- ⑤ 大臣がジ任する

問4 空欄番号

(5)

(8)

(10)

に入る語句として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ

一つずつ選んでマークしなさい。

6

8

(5)

6

- ① いつも不機嫌な
- ② 威張っている
- ③ 気が短い
- ④ 張り切っている
- ⑤ 不器用な

(8)

7

- ① つまり
- ② それどころか
- ③ さらに
- ④ ところが
- ⑤ だから

(10)

8

- ① 闘病記
- ② 私の遺言状
- ③ 父の詫び状
- ④ 家族の機嫌
- ⑤ 娘の感謝

問5

傍線番号(4)「私は古いタイヤから空気が洩れるような溜息をついてしまった」とあるが、なぜそのような溜息をついたのか。その理由として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。

9

- ① 癌だろうと思っていたという母の言葉が、予想外で驚くべきものだったので動揺してしまい、後に続く言葉さえ思い浮かばないような状態になってしまったから
- ② 母には癌のことを完璧に隠し切ってきたと思っていたのにそうではなかったことがわかり、今日こそ打ち明けねばと思っていた気持ちの張りが急にしぼんでしまったように感じたから
- ③ 今日こそ真相を母に伝えようと張り切っていたのに、それが突然裏切られるようなかたちになってしまい、あまりの意外さにただ呆然^{ぼうぜん}として気が抜けてしまったから
- ④ 今日こそ癌のことを話さねばと緊張していた雰囲気^{ふんいき}が、母の「いつ言い出すかと思っていた」という一言で突然なごやかなもの^{なごやかなもの}に変わり、ほっと一息つくような気分になったから
- ⑤ せっかく母を連れ出して話を切り出したのに、自分の気持ちを十分に伝えることができなかつたと思い、いつまでもわだかま^{わだかま}りが残るような気がしたから

問6 傍線番号(9)「こういう真似」とは、どういうことか。その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。

10

- ① 家族の、あることないことを文章にし、出版すること
- ② 家族のことを書いた先輩のエッセイをひき合いに出すこと
- ③ 家族の中の一員をモデルにした人物を登場させる本を書くこと
- ④ 家族のことを題材にして本を出すこと
- ⑤ 遺言状のようなものを世間に公表すること

問7 この文章の内容と一致するものを、次の①～⑤の中から一つ選んでマークしなさい。

11

- ① 「私」は、家族の反対もあつて、このエッセイ集を出したことについて強い後悔の念を抱いており、二度とエッセイには手を出すまいと誓った
- ② 「私」は、癌のことを知りながらそぶりにも出さず、母にはずっと黙っていてくれた弟の心遣いとその優しい心情を上なく嬉しいものだと感じた
- ③ 「私」は、何かという怒鳴り、手を上げるような父親が、世間には数多くいるのだと知り、安心すると同時に、なんとなくではあるが、憤りのようなものも感じた
- ④ 「私」は、このエッセイ集を出版した直後の読者からの反響の大きさに感動したが、思いもよらぬ内容の電話や手紙もあつてうんざりした気分になった
- ⑤ 「私」は、うまく母を騙したつもりが実は騙されていたのだとわかって驚いたが、癌のことに感じていたのにそのことに触れようとしなかった母の心配りに感動した

第二問 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(59点)

現代の自然科学は、たがいに関連しあう二つの思想的な課題に直面している。一つは「科学の社会学」といふべき問題であつて、科学が社会に影響を及ぼすとともに、社会のなかから生まれてくる場面で直面する問題である。もう一つは従来も「科学の哲学」と呼ばれてきた問題であり、科学的真理は認識としてどこまで確実かという設問である。後者は近代科学が成立したときからの古い問題だが、二十世紀末になつて、第一の問題が問われるにつれて新たな切実さをおびはじめたといえる。

そのさい、科学の社会学は、さらに二つの異なつた問題群に細別することができる。一つはいうまでもなく、科学技術がひき起こす影響の社会学であり、ジャーナリストや良心的な科学者が憂慮するのはもっぱらこの問題である。二酸化炭素の増大やフロンガスのオゾン層破壊など、環境破壊が典型的なトピックスであるが、近年ではクローン技術の可能性をめぐる、生命科学の倫理が世論を騒がせている。他方これに加えて、一般ジャーナリズムの世界ではめだたないが、このところ、とくに西洋の科学理論家のあいだで注目されている新しい問題がある。それは「科学の知識社会学」とでもいふべき論争であつて、性や人種の差別が科学の創造性に影響を与えているという議論である。かつて純粋な理性の営みだと信じられてきた科学が、じつは研究者の社会的特権に左右されるのではないかと問いかける点で、これは先に触れた科学の哲学にも一石を投じる問題になりかけている。(中略)

まず最初の科学技術の影響の社会問題については、今のところ学問批判は効果的に展開しているといえる。科学の立場に立つて科学技術を批判した本格的な業績は、たぶん一九六二年のレーチェル・カーソンの『沈黙の春』を嚆矢とする。農薬が生態系の破壊につながるというこの警告が、広く社会に受け入れられるまでには数十年単位の時間がかかった。だが遺伝子組み換え作物が人体に危険かもしれないという疑いは、発明から数年単位の時間で一般市民のあいだに広がった。

(4) 英国でクローン羊の誕生が伝えられると、ほとんど瞬時のうちに、各国政府はこの技術を人間に應用する研究を禁止した。科学・技術にたいする社会の警戒心の発動の速度は、この半世紀に幾何級数的に増えたといえるだろう。

じつさいこの速さは近代科学が誕生してから、さまざまな宗教的禁忌⁽⁵⁾を超えて普及するまでの歩みに比べて、驚異的といふかはない。科学の権威が公認されるのに数世紀を経たのにたいして、それが危ぶまれるには五十年しかかからなかった。もちろんその背景としてこの数百年のジャーナリズムの普及と、民衆の反権威的な性向の高まりを忘れてはなるまい。しかしなんといつてもこの歴史的事件の真の原因は、科学という知的営みの独特の性格に求められるだろう。第一に科学は理性的な純度のもっとも高い知的作業であるから、論理的に行われる批判には寛容に耳を傾け、謙虚に対処せざるをえないという特色がある。第二に科学は技術的な成果を通じて社会の目に触れ、その分だけ大衆への説得力も強いが、(6)も受けやすいという宿命がある。科学の理論ではなく、それがもたらす利益によって説得された大衆は、いったん不利益を感じると、合理的な得失の計算を忘れて全面否定に走りがちなのである。

すべての知識がそうであるべきように、科学が知的権威として謙虚であるのはよいことである。とくに工学や医学など社会的な接点の多い科学が自覚を深め、起こりうべき技術の危険を予防するための研究を進めるのは当然であろう。(7)もし従来のたこつば的な専門分立が科学者の視野を狭め、予期しない複合的な災力⁽⁸⁾を起こしているとすれば、学問分野の再編成も必要だろう。だがそれだけの配慮を施したうえで、一方で今ぜひ見据えておかねばならないのは、この努力が究極的に科学の「危険」を根絶することはありえないということである。知識については人間のいかなる現在の配慮にも限界があり、どんな文明も未来の知的世界を設計することはできない。人間が宿命的にもものを知る動物である以上、知識を飼い馴らす努力はしても、最後はその危険とともに生きる栄光を甘受せねばならないだろう。

忘れてはならないのは、近代科学はその出発のときから反時代的な精神活動であり、しかしそんな傲慢な自負^{ごうまん}はなしに、もっぱら知ることへの好奇心から誕生したということである。伝説が伝えるように、もしガリレオ・ガリレイが「それでも地球は廻^{まわ}る」と呟^{つぶや}いたとしても、そのとき彼はその述懐の文明史的な意味に気づいてはいなかっただろう。だが結果として、彼はそれによって来るべき人間中心主義に加担していたのであって、その後の近代精神のすべてに繋^{つな}がっていたのであった。彼が信じていたのは自分が発見した事実だけであり、それが時代の常識に反していても事実だという思いだけであった。そしていわばその無

邪氣さが、人間存在の意味を根本的に変え、その生きかたをも変える思想史の変革に彼を合流させたのだといえる。

皮肉なことに、現代の常識人はこの人間中心主義に首まで浸^ひかっているために、ガリレイの発見が当時どれだけ非常識であり、ほとんど不道徳であったかを実感することができない。それは今でこそ一宗教の権威にたいする挑戦にすぎないが、その時代には民衆をも含めて、万人の信じる価値観を(9)する発見であった。譬^{たと}えればそれは現代にフランケンシュタイン博士が実在して、人間の生命を人工的に誕生させるのに比べられる事件であった。くり返すが、しかしガリレイにはそのとき道徳的叛逆それ自体が目的ではなく、ただ知識の喜び、好奇心の満足だけが動機であった。「それでも地球は廻る」の「それでも」を深読みすれば、彼はカトリックの世界観の全体は正しいとしても、それでも自分の地動説だけは信じたいと願っていたのだろう。

(10) やがて近代化が進んでそれ自体が意識されるようになると、この人間中心主義も一つのイデオロギーとして自己主張を始めることになった。十七世紀の大航海時代から二十世紀前半の工業化の全盛期まで、人間は自信を深めるとともに傲慢になり、知的精神もまた謙虚さを失った。知ることにはたんに好奇心の満足ではなく、人類の正義の実現として称^{たた}えられ、世界を征服することと同義語とされた。民衆は啓蒙⁽¹¹⁾の対象となり、社会は知識の成果によって改革されるべき素材となった。万物の霊長という人間観が固定され、現世的な幸福を肯定する思想が完成し、知識はそういう人間の勝利の旗印となった。とくに科学は知識そのものとその技術的成果によって、いわば二重の勝利の象⁽¹²⁾チヨウとなったのであった。

今、世紀の転換期にいたって、一転してこのイデオロギーとしての人間中心主義が疑われている。啓蒙主義と進歩思想が疑われ、世界を征服する力としての知識の特権が否定された。そしてそのことはいうまでもなく、人間の精神にとって健全な変化であった。もともと文明はけっして「進歩」するものではなく、どんな知識にも一元的に世界を征服する力などないのであるから、これまでの傲慢が排除されたのは当然のことだろう。科学についていえば、それが科学以外のさまざまな真理、とりわけ宗教的真理を迷信として否定するような独善は許されない。かりに科学が究極まで発展したところで、世界にはそれで説明できない「偶然性」が残るのであり、人間にとつては生涯の大半がその偶然に満たされているのは自明だからである。たぶん科学は今後みずからの知の支配を広げれば広げるほど、その力の絶対^{絶対}に及ばない世界があることを知って頭をさげることになるだろう。

だがそうした知のイデオロギー的な傲慢が排除されても、むしろその傲慢が排除されればこそ、ガリレイのあの無邪気な知的好奇心が人間から失われるとは思えない。たとえ世界の全体を知り尽くすことは絶望だとわかっていても、目の先の視野を一寸でも広げたいと願うのはほとんど人間の本能だといえる。思えばストア派やエピキュロス派の昔から、人類は何度となく知識にたいする⁽¹³⁾懐疑主義に陥り、そのたびに不死鳥のように知ることの本能を蘇^{よみがえ}らせてきた。この本能を好奇心と呼ぶのはたぶんまぬるいのであって、⁽¹⁴⁾人間の不安な存在に根ざした探求の欲望と呼ぶべきだろう。それは近代の人間中心主義とは何の関係もなく、人間が現世的に幸福を願うこととも別の根を持つ⁽¹⁵⁾衝動であっただろう。それどころか、⁽¹⁶⁾この衝動は知は正義であるという倫理観とも、知は世界を征服できるという楽観主義とも無⁽¹⁷⁾エンであったて、逆に人間の⁽¹⁸⁾から芽生えているだけに根強いのである。

(山崎正和『世紀を読む』による)

問 1 傍線番号(8)・(12)・(17)と同じ漢字を使う語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

12

14

(8) 災カ

12

- ① カ中の人となる
 ② 体に負カがかかる
 ③ カ空の物語をつくる
 ④ 将来にカ根を残す
 ⑤ 休カを取得する

(12) 象チヨウ

13

- ① 罰金をチヨウ収する
 ② 地震の前チヨウをつかむ
 ③ 傾チヨウに値する話だ
 ④ 社員をチヨウ罰に付す
 ⑤ 遺族にチヨウ意を表す

(17) 無エン

14

- ① 造エン業を営む
 ② 予定をエン期する
 ③ 私鉄のエン線に住む
 ④ エン側でお茶を飲む
 ⑤ 劇に出エンする

問2 傍線番号(3)・(5)・(15)と同じ読みものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

15
)
 17

(3) 業績

15

- ⑤ 一朝一夕
 ④ 枝葉末節
 ③ 試行錯誤
 ② 一期一会
 ① 起承転結

(5) 禁忌

16

- ⑤ 審理
 ④ 官吏
 ③ 避難
 ② 棄権
 ① 魅惑

(15) 衝動

17

- ⑤ 抑制
 ④ 就労
 ③ 警鐘
 ② 街頭
 ① 稼働

問3 傍線番号(1)・(11)・(13)の本文における意味として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びマークしなさい。

18

20

(1)

一石を投じる

18

- ① 賞賛する
- ② 強く批判する
- ③ 関心を示す
- ④ 問題を提起する
- ⑤ 邪魔をする

(11)

啓蒙

19

- ① 人々から自由を奪い去ること
- ② 貧しい人々に物資を援助すること
- ③ 無知な人々に正しい知識を与えること
- ④ 権力者が多くの人々を支配すること
- ⑤ 能力に応じて人々に序列をつけること

(13)

懐疑

20

- ① すべてを受け入れること
- ② 強く否定すること
- ③ 十分に話し合うこと
- ④ おかしいと思うこと
- ⑤ すべてを捨て去ること

問4

傍線番号(2)「今のところ学問批判は効果的に展開しているといえる」とあるが、このように言えるのは、どのような現象が見られるようになったからか。その答えとして不適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

21

- ① 科学技術の可能性に関する倫理問題が世間を騒がせるようになってきたこと
- ② 危険性の高い科学技術に対して公的機関が早急な対策を講ずるようになったこと
- ③ 科学技術に対する学問批判に対抗する形で科学技術が大きく進歩してきたこと
- ④ 科学技術に対する学問批判が社会に受け入れられる速度が速くなってきたこと
- ⑤ ジャーナリズムの普及等により、科学の権威が短時間で危ぶまれるようになったこと

問5

空欄番号

(4)

(7)

(14)

に入る接続詞の並びとして、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

22

- ① しかし——つまり——むろん
- ② しかし——また——むしろ
- ③ しかし——また——むろん
- ④ さらに——また——むしろ
- ⑤ さらに——つまり——むろん

問6 空欄番号

(6)

(9)

(18)

に入る語句として、最も適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ

一つずつ選びマークしなさい。

23

25

23 (6)

- ⑤ 合理的な賛同
- ④ 熱狂的な賛同
- ③ 合理的な反発
- ② 理性的な反発
- ① 感情的な反発

24 (9)

- ⑤ 侮辱
- ④ 黙認
- ③ 甘受
- ② 補強
- ① 肯定

25 (18)

- ⑤ 思考
- ④ 不安
- ③ 恐怖
- ② 自信
- ① 不満

問7 傍線番号(10)「やがて近代化が進んでそれ自体が意識されるようになると、この人間中心主義も一つのイデオロギーとして

自己主張を始めることになった」とあるが、このような時代の流れの中で人間はどのように変化したのか。その説明として、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

26

- ① 人間の猜疑心さいぎが増したということ
- ② 人間の傲慢さが増したということ
- ③ 人間の知識欲が増したということ
- ④ 人間の羞恥心が増したということ
- ⑤ 人間の好奇心が増したということ

問8 傍線番号(16)「この衝動」の指示する内容について、最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びマークしなさい。

27

- ① 幸福を追求したいという感情
- ② 未知のものを知りたいという欲望
- ③ すべてを支配したいという独善
- ④ 世界を征服したいという願望
- ⑤ 恐怖から逃れたいという本能